

月間市況等報告集計表(5年 9月分)

1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

(1) 市況の概要

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

種類	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り	前年同月比
			前月比	平均単価	前月比
野菜	9月は例年より台風が発生が少なく、主要品目への台風被害での影響はなかった。しかし、全国的に高温・干ばつが生育を妨げ、品質や収穫の低下が目立つ月となった。 高冷地が主力のトマトや県産白ネギなどの品目は高温による生育不良による全体量の減少から高値基調となった。	1,671	107%	248	100%
			110%		109%
果実	国内果実は全体的に前進出荷となった。9月中旬は高温が続き、そのため夏果実の引き合いが集まった。下旬から柿・みかん・りんごの入荷もあり、秋果実が出始めた。全体的に入荷減・単価高で推移した。(高温障害と雨不足により、内部被害が見られる果実が目立った)	872	78%	341	113%
			80%		85%

主要品目		市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り	前年同月比
				前月比	平均単価	前月比
野菜	だいこん	北海道中心の販売だったが高温障害で品質の低下が目立った。価格に関しては北海道も含めた各産地が数量が少なかったこともあり、例年よりも高値で推移した。	109	135%	156	89%
	キャベツ	群馬県産キャベツは高温による6玉増加、傷みにより出荷調整が行われた。相場は500円ほど上がった。その後また一時的に価格が下がるも後半の関東の特売により数が減少し、相場がまた上がった。	210	119%	80	111%
	きゅうり	福島・群馬産中心、富山産で猛暑の影響から出荷ベースは不安定ながらも、気温が例年より高めで推移したため、大きな減少無く安定した出荷量となった。販売も連休もあり谷のない販売で安定した。	94	125%	417	116%
	なす	群馬・茨城産中心で雨の影響から減少、品質低下なども一時的にあり販売に影響がでた。下旬には露地の品質低下がみられた。このタイミングで後続産地の高知出荷が始まり、暑かったものの生育は順調で販売の切り替えがスムーズに行えた。	36	88%	422	119%
	とまと	岐阜中心愛知産で猛暑の影響もあり玉サイズは小玉で28玉中心となり、入荷量は減少した。販売単価も例年に無い高単価になり苦戦気味の動きとなった。出荷も例年になく少なく早切り上がりする。	47	42%	749	148%
果実	ハウスみかん	前進出荷の為、早期終了。	5	100%	888	144%
	つがる	高温の為、高温障害が発生し、日焼け果による生理落下や色つかないものが多く、数量が大幅減となった。	9	23%	422	152%
	豊水	本年は前進出荷となり、9/2~9/20の販売だった。雨が降らないため肥大化せず、日照による日焼け果増加など内部障害が多く、出荷量は減少。	69	56%	354	135%
	巨峰	長野県産主体の入荷。長野県産は中旬から露地となり、数量はやや増となったが、山梨県産が早期に終了した為、引き合いは強くなった。	17	85%	1,110	121%
実	バナナ	8月よりもレギュラーバナナの入荷量が増加し、全体の底上げとなった。単価面も円安の影響が強く、総じて原価上げとなっている。	283	98%	197	108%
				106%		104%

2. 取扱品目の卸売実績

(金額:税込み)

種類	数量(kg)			金額(円)			
	受託	買付	計	受託	買付	計	
野菜	一般野菜	901,684	769,162	1,670,845	272,063,002	176,015,076	448,078,078
	加工野菜			0			0
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
	計	901,684	769,162	1,670,845	272,063,002	176,015,076	448,078,078
果実	一般果実	258,085	613,468	871,553	142,444,766	178,993,961	321,438,727
	加工果実			0			0
	その他						
	冷凍食品						
	計	258,085	613,468	871,553	142,444,766	178,993,961	321,438,727
合計		1,159,769	1,382,629	2,542,398	414,507,768	355,009,037	769,516,805